

○：あれは何ですか、陸ノリのように「さやえんどうですよ、——陸ノリとはうまいことをいいますね」小春日

# 反収十萬円の魅力

## 志岐特産・さやえんどう

和の天草西海岸、志岐平野を走っているパスのなかの会話である。島原半島はかすみのなかに煙っていた。

○：寒ノリの採取場のように一面の田を植えてつくしているえんどう。若北町がさやえんどうの試作に乗り出したのはさる昭和二十九年だ。僅か四アールの試作が三十一年には一ヘクタールになり三十五年には四町にひろがった。そして栽培に自信を得た同村では三十六年になつて一躍三十八・五ヘクタール(百五十農家)に及んだ。見込んだ現金収入は三千万円。きゆうり、ばれいしょ、いんげん、グリーンピースの抑促成培とともに押しも押されぬ九州一のえんどう地帯である。

○：志岐平野は摂氏十七度ラインにあつてはいる、いわゆる暖地だ。早期稲作が普及するにつれて、その裏作に何をにつくるかが、町当局の農政指導の最大のテーマとなつた。栽培法が比較的やさしい①めかたが軽く輸送費がかさまない②水田でもつくれる。三つの利点をもつさやえんどうが採用されたのは立地条件を生かした適切な判断だつたようだ。勿論、苦心はあつた。九州農試から技師を

まねいての技術指導、各部落に対する巡回講習、三十五年「特産野菜育成協議会」が出来てからようやく軌道にのつた。しかし「自信はあつたんですが、本格的に奨励して、果して成功するかどうか、夜もろくろく眠れませんでしたよ」

——若北町大仁田経済課長はこう当時の苦心をもらしている。

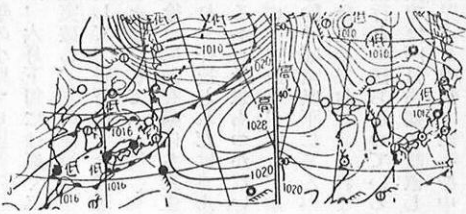
○：九月に播種、十一月から摘みとり出荷をはじめ、二月がピーク、四月二十日頃の田植がはじまるまでとれる。反収一千キロ、各農協で四キロ入りのカゴに荷造り、本渡まで陸送、本渡から三角まで機帆船、三角で県販購連に渡すが、北九州から関西が仕向け地。冬場の高値のときは四キロ一カゴ千五百円もする。

——「さや一本が五円ですからね」とえびす顔である。稲の反収三万円に比べ反収十万円はたしかに魅力。こんどの課題は市況をうまくつかむことだという。雲か山か呉か越か——さやえんどうはしい産業として風土をきづくことだろ

☆写真は若北町のさやえんどう共同出荷



# お天気博士の台風診断



台風があなたの西側を通つたら危険

○台風の右側で、中心から五〇〜百キロくらいのところが、最も風が強い。だから、台風が天草の西方を北上する時がひどくやられる。

## おそろしい台風

### 水爆の千倍くらいの力

風向きの変わり方

○風向きが時計の針と同方向に廻るときは、台風はあなたの西側を通る。

○風向きが時計の針と反対に廻るときは台風は東側を通る。

○台風の中心が通るときは、風向は変わらず、風が強くなり、台風の「目」に入ると風は急に弱くなり、「目」の通過と同時に風向きが反対になつて、強い風が吹き返すので注意。

風速が15米/秒をこすと被害がでる

○風が物を押す力、すなわち風圧は、風速の二乗に比例するので、風速が二倍、三倍となると、風の力は四倍、九倍と

風速(米/秒)	風圧(kg/m <sup>2</sup> )	被害状況
15	27	取りつけの悪い看板がとぶ
20	48	風に向つて歩けない板がとぶ
25	75	弱い塀が倒れる
30	108	屋根瓦がとび、半壊家屋急増
35	147	樹木が折れる
40	192	電柱や煙突が倒れる
45	243	全壊家屋急増、大型船舶てんぷく

中心の気圧が低いほど風も雨も強い

○暴風半径が小さくても、中心の気圧が低いと風は強い(豆台風)

台風の規模	格付クラス	中心の気圧(ミリバール)	最大風速(米/秒)
格付超A級	920以下	65以上	
大関A級	920~950	50~65	
関脇B級	950~980	30~50	
小結C級	980以上	17~30	

### 台風の前方に前線がある

○台風の前方に停滞前線がある場合、台風自体の雨よりも、前線による豪雨のほうに恐ろしい。

○だから、台風の中心から遠く離れたところでも、大雨のため洪水や山くずれが発生する

### 梅雨の被害も恐ろしい

九州地方では台風におとらず梅雨の被害は大きい。

■五日間の雨量が百ミリ以上になると水害が出はじめる。(大雨注意報)

■二〇ミリ以上になると、床上浸水などの大きな水害が起る。(大雨警報)

■梅雨末期の六月下旬から七月にかけての豪雨が恐ろしい

沿岸では高潮に注意

○高潮は台風の中心気圧が低いほど、また進行速度が早いほど、満潮の日時に近いほど、風向きが海岸に直角に近いほど警戒しなければならぬ。

○また、風の強いときには風の息が大きく、瞬間的には平均風速一・五倍くらいの突風が吹く。

○三〇/秒程度の風でも、地形の影響で、局部的には四〇/秒以上になることがあり、予想外の大きな被害を生ずる。

○局地的な強風や風の息に注意

### 諒早豪雨の教訓

梅雨期に強い雷雨を伴つた雨が降り出したら、いちおう局地的豪雨とみなして、台風におとらぬ警戒をすること

■一時的に雨が弱くなったが、水位が下がつても、デマに迷わず気象警報を信頼して、早目に避難すること。

■夜間は連絡がとりにくいので、雷雨のときはラジオも聞きにくいので、積極的に防災水防機関と連絡をとること。

★チヨツト一言★

○四月一日から、拠出制国民年金の、保険料の納入が始まった。

○納められた保険料は、その額の半額に当る国の負担金をつぎ足して、国が責任をもつて積み立てていくことになる。

○社会保険制度の立前から、納められた保険料額に応じて、年金額に差がつけられているので、一年でも二年でも余計に納めれば、それだけ有利な年金が貰えることになる。

○家庭の事情でどうしても納入が困難なときには、保険料を免除してもらい、資力ができたときに、免除期間分の保険料をさかのぼって納めるといふこともできる。

○このように、資力のあるときにはは完納し、資力のないときには免除を受けられるというたてまえだから、滞納すれば不利。なお、資力のあるうちに将来の保険料まで納入したいという方には、割引のある前納の方法もある。

国民年金の保険料